

飯野出張所で初めての議会

7/27 第7回飯館村議会臨時会を飯野町で開催

7月27日、村役場飯野出張所3階議場において第7回飯館村議会臨時会が開かれました。今回の議会は、村の機能が福島市飯野町に移転して初めて開催された議会となります。

掲示板を設置する条例や、東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例、小学校用地の取得などが議案として提案されました。今回の議会に提出された議案はすべて可決されました。



▲飯野出張所で行われた初めての議会

中学生の目標達成に向けて

7/29 村塾が福島市で開校

村教育委員会が主催する村塾が今年も開校しました。中学3年生の学力向上を目指して始まった村塾も、今年で3年目を数えます。今回は、村の中学3年生57人中、52人が参加した。



▲開校式の様子

この日、福島市内の尚志学園校舎で行われた開校式では、広瀬要人教育長があいさつし、「今年の受験は例年以上に厳しくなることが見込まれますが、皆さんの夢をあきらめず、目標に向かって頑張ってください」と激励しました。村塾は、英語と数学についてそれぞれ「基礎コース」「発展コース」が設けられ、自分の目的に合わせたコース選択ができます。

8/10 元山古志村長長島忠美さんが講演

2004年10月、村と同じように、新潟県中越地震で全村避難した新潟県山古志村（現在の長岡市）の元村長で、衆議院議員の長島忠美さんが飯野学習センターで講演を行いました。

村議員や職員を前に講演した長島さんは、「地域の人たちと帰りたいという思いを共有するというのが大切」と体験を交えながら避難中の帰村に向けた心境などを話しました。

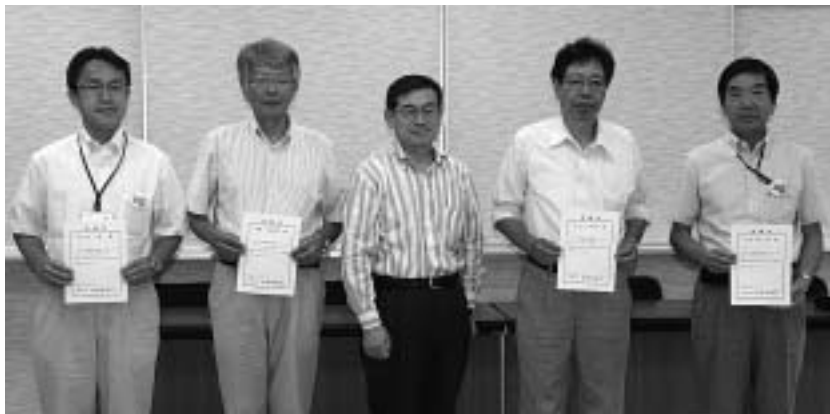


▲講演を行う長島さん

土壌除染の方法を検討

7/15 除染対策のアドバイザーを選任

村では、村内の除染の方法について検討を進めるため、飯館村土壌除染アドバイザーを選任しました。



▲村の土壌除染アドバイザーに選任された皆さん（左から野地誠さん、菅家文左衛門さん、村長、丸山清明さん、石田順一郎さん）

（独）日本原子力研究開発機構（JAEA）福島事務所長の石田順一郎さん、元福島県農業試験場会津地域研究支場長の菅家文左衛門さん、福島県農林水産部企画主幹の野地誠さん、元（独）農業・食品産業技術総合研究機構理事の丸山清明さんの4人を選任し、村長が委嘱状を交付しました。

アドバイザーは、今後、土壌除染の村の方針について検討するほか、村が独自に行う除染試験のついでに助言などを行うことになっています。

帰村に向けたプロジェクトチームが発足

8/9 村独自の復興プランの基本方針を策定 「いいたてまでいな復興プラン」庁内検討委員会が発足

村の復興計画を策定する「いいたてまでいな復興プラン」庁内検討委員会が発足しました。

この委員会は、役場職員に加え、村づくりアドバイザーの佐川旭さん、東日本大震災復興構想会議委員などを務める赤坂憲雄さん、国立環境研究所主任研究員の藤野純一さん、福島大学行政政策学類教授の千葉悦子さんをアドバイザーに迎え組織されました。

また、この検討委員会には国、県の職員もオブザーバーとして参加しています。

第1回の委員会は福島市の飯野学習センターで行われ、村内の放射線量の推移や、これまでの村の経過を確認しながら復興プランの方向性について話し合いが行われました。

検討委員会では今後も検討を重ね、9月末までに復興プラン策定の基本方針をまとめたいとしています。



▲検討委員会のようす



▲委員会に先立ちアドバイザーによる基調講演も行われました

5/24

齊藤次男村選挙管理委員長が 褒章を受賞

村選挙管理委員長の齊藤次男さん（深谷）が国から藍綬褒章を受賞しました。

今回の褒章受賞は、村選挙管理委員として昭和61年10月から現在まで、また、村選挙管理委員長として平成4年6月から現在までの長年にわたり広い見識と豊富な経験を

活かしながら、村で行われた様々な選挙を適切に管理してきたことなどが高く評価されたものです。

この日、知事公館で佐藤雄平福島県知事から褒章の伝達を受けた齊藤さんは、役場飯野出張所を訪れ村長に褒章受賞を報告しました。



▲藍綬褒章を受賞した齊藤さん

三菱UFJリース株式会社が寄贈

7/21

デジタルカメラ贈呈式と 使い方講習会を開催

三菱UFJリース株式会社から村内の子どもたちにデジタルカメラの寄贈があり、村飯野出張所大会議室で贈呈式と使い方講習会が開催されました。

この贈呈式には、村内の小学3年生から6年生とドイツ研修者ら約120人が参加しました。



▲村長に目録を贈呈する村田社長（右）

式では、三菱UFJリース株式会社の村田隆一社長から村長に目録が贈呈され、子どもたちの代表にニコン製のデジタルカメラを手渡しました。

続いて行われた講習会では、株式会社ニコンの職員がテレビ画面やプロジェクターのスクリーンを使いながらカメラの使い方を子どもたちにわかりやすく教えていました。

参加した子どもたちは、「ドイツの研修に行くので写真をたくさん撮りたい」などカメラの使い方にあれこれ考えをめぐらせていました。



▲カメラの使い方を学ぶ子どもたち

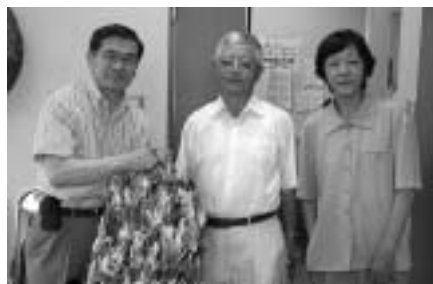
8/5

アメリカの大学生が千羽鶴を寄贈

アメリカのコロラド州立大学の学生から村に千羽鶴が寄贈されました。

学生たちは、福島県に農業体験で訪れていましたが、今年は原発事故の影響で来日できず、日本のことをとても心配してくれたそうです。

学生たちがお見舞いの心を込めて折った千羽鶴は、福島ふるさと体験スクール（伊達市霊山町）



▲アメリカの学生から送られた千羽鶴を村長に手渡す酒井さん（写真中央）

の酒井さんを通して村長に手渡されました。



震災から間もなく半年

村民の皆さん、どのようにお過ごしですか。あの地震、原発事故以降、村は大変な思いをさせられてきました。ここにきて、やっと全村避難がほぼ完了し、次の対策に入っていくこととなります。

避難生活の苦労は、全村民が強いられることでしょうか。原因は、国であり東電ですが、村長として本当に申し訳ないという気持ちでいっぱいです。

さて、では「次の対策を」ということになりませんが、やるべきことはいっぱいあります。例えば、

- ① 離れ離れになった皆さんや村とのつながり方をどうつくっていくか
- ② 皆さんの健康や放射能への不安にどう対応していくか
- ③ 汚れてしまった村の土をどう取り除いていくか
- ④ 皆さんの生活の糧や自立の心をどう保っていくか 等々

これから進めていかねばならないことが山ほどあります。

職員も、そして私も一所懸命取り組んでいきますが、何でもできるわけではありません。

皆さんに、いろいろな面でお手伝いをいただいたり、担ってもらわなければならぬことがたくさんあります。大変な避難生活の中ではありますがどうかよろしく願います。

ところで、あの時の風の流れて、村は土地が汚されてしまいました。なんとお腹が立つてなりません。なんとしても元に戻す努力をしていかねばなりません。

広い村ゆえ大変な作業ですが、問題はそこで除染して出た残さいをどこに置くかです。

残念ながら、ここが決まらないと除染が全く進みません。

村では、とりあえずそのものを村内の国有林などの中に仮置きするという事で国の除染事業を大幅に入れて行きたいと考えています。

いずれにしろ、一日も早く帰れる村にするため、皆さんのご協力が一番の力であり、支えであります。

平成23年8月22日

飯館村長 菅野典雄

8/14

比曽行政区で顔合わせ会

比曽行政区でお盆一時帰宅顔合わせ会が比曽集会所で開かれ、比曽行政区民約80人が参加しました。

中山間事業など今後の予定説明あとに行われた懇親会では、久しぶりに顔を合わせた区民たちが、和やかに交流を深めました。



▲集会所で行われた顔合わせ会のようす

ひとのうごき

（6月21日から8月20日までに届け出のあったもの）

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
6月21日から7月20日まで		
澤田 煌生 くん	香・望美	草野
菅野 昌佑 くん	昌彦・喜久	宮内
高野 灯里 ちゃん	尚重・香純	飯樋町
木幡 優茉 ちゃん	昌彦・瑞恵	深谷
5月21日から6月20日まで		
松林 陸 くん	勇貴・洋子	伊丹沢

すくすくと育ってね

結婚おめでとう



氏名	出身地
6月21日から7月20日まで	
佐藤 数也	大倉
今野 麻美	相馬市
長谷川 勉	前田
クルズデレオン・メリーアン	フィリピン
仁科 貴文	山形県米沢市
鈴木 真澄	佐須
高橋 裕仁	深谷
星 敦子	上飯樋
花井 晃美	伊丹沢
岡崎 正	伊達郡川俣町
7月21日から8月20日まで	
三坂 幸平	白石
中山 有理	南相馬市
菅野 和令	草野
高橋 沙織	関沢
江藤 由弘	小宮
佐藤 絵美	南相馬市

いつまでもお幸せに

おくやみ



氏名	年齢	行政区
6月21日から7月20日まで		
菅野 勇	91	佐須
高橋 慧	12	前田・八和木
古川 由子	71	飯樋町
森永 一男	78	前田・八和木
7月21日から8月20日まで		
穴戸 盛	89	草野
高野 一郎	93	前田
佐藤 喜一	84	関根・松塚
庄司 サキ	102	伊丹沢
菅野 梅子	91	関根・松塚
佐野 重幸	34	飯樋町

ご冥福をお祈り申し上げます

8月1日
3日
6日
8日
9日
10日
18日
19日

- ・代かき等土壤除染試験実施（伊丹沢地内）（4日）
- ・中山間地域等直接支払推進協議会説明会開催
- ・村内操業継続事業所の線量推定結果説明会開催（4日）
- ・村内企業・見守り隊健康診査（154名 飯館中学校）
- ・飯館村未来への翼事業プロジェクト実施（中学生によるドイツ研修）（17日まで）
- ・転作牧草はぎ取り試験実施（飯樋町地内）
- ・「いいいてまでいな復興プラン」庁内検討委員会発足
- ・元山古志村長島忠美さん講演会開催
- ・村内で交通死亡事故発生（計画的避難開始後2例目）
- ・甲状腺検査結果説明会開催（19日）
- ・水田固形化剤散布等土壤除染実験・実証プレスリリース実施（伊丹沢地内）

7月1日
2日
7日
10日
15日
18日
20日
21日
22日
23日
26日
27日
28日
29日
31日

- ・相馬仮設住宅（西工業団地）入居開始
- ・ホールボディカウンタ検査（先行調査20名 千葉県放射線医学研究所4日にも実施）
- ・三宅村長が職員に講話
- ・飯野仮設（旧飯野小）入居開始
- ・村土壤除染アドバイザー選任
- ・第13回村議会原発事故災害対策特別委員会を開催
- ・村内で交通死亡事故発生。死亡事故ゼロが1799日でストップ
- ・幼稚園、小中学校で終業式。52日間の1学期が終了
- ・ホームセキュリティ設置開始
- ・デジタルカメラの寄贈式と使い方講習会開催
- ・第4回臨時行政区長会開催
- ・飯野仮設住宅（旧明治小）入居開始
- ・松川仮設住宅（旧松川小）入居開始
- ・県復興ビジョン意見交換
- ・ホールボディカウンタ検査（4歳以上の希望者対象以降29日、8月3・8・11・16・18日にも実施）
- ・原子力災害に伴う「不耕作による損害」（休業補償）請求説明会開催（29・30日、8月1日）
- ・第7回飯館村議会臨時会開催
- ・村職員による三宅村視察（29日まで）
- ・松川仮設住宅（工業団地第1）入居開始
- ・内部被ばく検査説明会
- ・村塾が開校
- ・松川仮設住宅（工業団地第2）入居開始
- ・伊達東仮設住宅入居開始
- ・第33回UFOショッピングストリート“がんばっぺ！ホコ天”飯館・飯野復興祭開催

編集後記

吉倉のミニ夏祭りで飯館産米のお餅をこちそうになりました。ホカホカのお餅を食べながら、飯館の新米でついたお餅を1日も早く食べたいと願わずにはいられませんでした。



▲水田固形化剤散布等土壤除染実験のようす（伊丹沢地内）



▲飯館・飯野復興祭のようす



▲終業式のようす（写真は飯樋幼稚園）